

消化器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 中下部悪性胆道狭窄に対する超音波内視鏡下胆管十二指腸吻合術と内視鏡的経乳頭胆管ドレナージ術の有効性と安全性に関する後方視的検討

[研究機関] 北海道大学病院消化器内科

[研究責任者] 川久保 和道 （消化器内科・助教）

[研究の目的]

中下部悪性胆道狭窄に対する内視鏡的経乳頭胆管ドレナージ術*と超音波内視鏡下胆管十二指腸吻合術**の有効性と安全性を比較検討するため。

*内視鏡的経乳頭胆管ドレナージ術：

内視鏡（胃カメラ）を用いて十二指腸乳頭から、‘ステント’という管を入れる治療。

**超音波内視鏡下胆管十二指腸吻合術：

超音波内視鏡といって内視鏡の先端に超音波の機械をついたものを用いて、十二指腸から胆管に針を刺して、その針穴に‘ステント’を入れる治療。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

中下部悪性胆道狭窄の患者さんで、平成 21 年 5 月 1 日から平成 26 年 4 月 30 日の間に胆道ドレナージの治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器内科 担当医師 川久保和道

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7867